

科目名	教育原論		担当教員	由 田 新		
			担当形態	単独		
テキスト	資料を適宜用意します。	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな教育という働きについて理解し説明できる。 ・小学校以上の教育と幼児期の教育（保育）の考え方について理解しその違いを説明できる。 ・身近にある様々な教育の問題に興味を持ち自分なりの見解を持ち、説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>教育というと学校での教育をイメージしやすいと思いますが、教育＝学校ではありません。学校は「教育」のある部分を担ってはいますが、私たちは学校だけで成長しているわけではありません。この授業ではまず、学校以外での教育を考えます。そして、教育についての基礎的な理論・思想・制度等を学びつつ、今日の学校というシステムを見つめ直し、人が一人前の人間へと育てていくということの本質を考えていきます。それは、幼児教育や保育の考え方の理解へと繋がっていくと思います。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 教育とは何か</p> <p>第2回 なぜ教育が必要か</p> <p>第3回 日々の生活の営みにある教育(日) 家庭・地域の教育力</p> <p>第4回 日々の生活の営みにある教育(月) 子どもの遊び集団がもっていた教育的機能</p> <p>第5回 人が育つ環境としての現代社会の課題（家庭・地域・社会）</p> <p>第6回 近代公教育制度の成立と学校</p> <p>第7回 学校の課題</p> <p>第8回 今日の教育制度・保育制度とその課題</p> <p>第9回 近代教育思想の歴史</p> <p>第10回 子ども観と教育</p> <p>第11回 幼稚園教育要領・保育所保育指針の考え方と方法</p> <p>第12回 幼児教育・保育と学校教育の違い</p> <p>第13回 生涯学習社会と教育</p> <p>第14回 現代教育の諸問題</p> <p>第15回 総まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で提示された課題について調査・検討してくること。 ・授業後に授業内で学んだことを整理し、まとめること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小レポート — 20% ・小テスト — 30% ・期末レポート — 50% 						
参考文献	青木久子編著「教育学への視座—教育へのまなざしの転換を求めて」(萌文書林) 荻谷剛彦「学校ってなんだろう—教育の社会学入門」(ちくま文庫) 門脇厚司「子どもの社会力」(岩波新書)		特記事項	特になし。		
				卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修	幼
			保	保育の本質・目的に関する科目		